

輸出事業計画

※申請者名：九重味淋株式会社、品目：本みりん・発酵調味料・リキュール

1. 輸出における現状と課題

【現状】

当社は業務用みりんを中心に本みりん等の酒類及び食品等の製造販売を行う会社である。
平成27年に輸出を開始し、輸出先国では現地生産の製品と比較して高額だが甘味など味が違うと評価を得る。
本みりん等を台湾、スイス、香港などへ輸出しており、輸出額は12百万円(令和6年9月期)となっている。

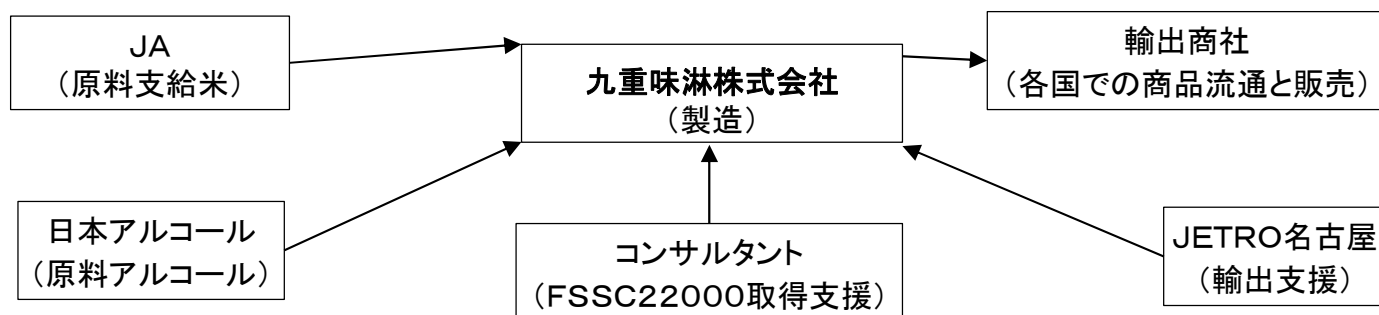
【課題】

食品安全に係る国際認証が取得できていないため、安心・安全に対する訴求が弱く、販路開拓に苦戦している。
輸出先国の納入先によっては国際認証が無いと商談ができない場合もあるなど、商品提案先が限られてきている。
そのため、輸出先国で商品を販売するにはFSSC22000の認証取得が喫緊の課題となっている。
また、イスラム教の国では、商品をアルコール度数ゼロにする必要があるなどの対応が求められている。

2. 輸出事業計画の取組内容

海外バイヤーから求められているFSSC22000認証取得は、現在の施設では対応ができない状況にある。
そのため、令和7年度に食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業により施設整備を行う。
令和8年6月に認証取得ができ次第、商品出荷につながるよう商談を進めている。原料として出荷できるよう国内食品加工業社で海外出荷をしている取引先へ商品提案を行う。
コーシャに加え、FSSC22000を認証取得することによって、商品の安全性という面で他社との差別化を図ることでさらなる輸出拡大を目指す。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

本みりん 他	現状（令和6年9月）	目標（令和12年9月）
輸出額（千円）	11,187	52,500
輸出量（L）	15,045	96,860
輸 出 先 国	香港・台湾・スイス・フランス・ドイツ・カナダ・イスラエル・ベトナム	香港・台湾・スイス・フランス・ドイツ・カナダ・イスラエル・ベトナム・アメリカ・イギリス・UAE